

保護者 様

校 長 佐藤 克巳

令和5年度 学校評価の結果報告について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、過日、ご協力をいただきました学校評価アンケートの結果をお知らせします。この結果を十分に踏まえ、多くの皆様からいただいたご意見を反映し、次年度の教育活動に生かしていきたいと考えております。今後とも、ご協力をお願いします。

【評価の程度】4 … とても思う。 3 … 思う。 2 … あまり思わない。 1 … 思わない。

※ 小数点以下は、四捨五入とする。

No.	対 象	質 問 事 項	4	3	2	1
1	保護者	【学校教育】 学校は、教育方針や学校活動などについて、わかりやすく情報を発信している。 ※ 各種たよりやホームページ、メール配信など。	23 %	73 %	4 %	0 %
	教 員		64 %	36 %	0 %	0 %
2	保護者	【特別支援】 学校は、特別支援教育の推進のために、一人一人を大切にした教育をしている。 ※ ユニバーサルデザインや合理的配慮など。	16 %	68 %	15 %	1 %
	教 員		32 %	68 %	0 %	0 %
3	保護者	【学力向上】 学校は、子どもの学力向上を目指して、分かりやすい授業を展開している。	15 %	75 %	10 %	0 %
	教 員		32 %	68 %	0 %	0 %
4	保護者	【ICT教育】 学校は、子どもが学習に主体的に取り組むために、ICTを効果的に活用している。	15 %	66 %	18 %	1 %
	教 員		41 %	59 %	0 %	0 %
5	保護者	【生徒指導】 学校は、いじめや差別のない指導に取り組んでいる。	16 %	72 %	11 %	1 %
	教 員		64 %	36 %	0 %	0 %
6	保護者	【教育相談】 学校は、子どもの相談にいけないに対応している。	17 %	73 %	9 %	1 %
	教 員		55 %	41 %	5 %	0 %
7	保護者	【安全指導】 学校は、子どもが安全で安心に学校生活を送ることができるように指導している。 ※ 登下校指導や避難訓練など。	25 %	71 %	4 %	0 %
	教 員		68 %	32 %	0 %	0 %
8	保護者	【体力向上】 学校は、体力向上に努めている。	15 %	75 %	9 %	1 %
	教 員		41 %	55 %	5 %	0 %
9	保護者	【保健安全】 学校は、子どもの体調管理や、体調不良者に寄り添って関わっている。 ※ 発熱や内外傷児童などに対して。	25 %	70 %	4 %	0 %
	教 員		64 %	32 %	5 %	0 %
10	保護者	【家庭との連携】 学校は、家庭との連絡をきめ細かく行い、丁寧で相談のしやすい雰囲気である。 ※児童の送迎時、電話対応、行事、教育相談等も含まれます。	26 %	63 %	10 %	1 %
	教 員		64 %	36 %	0 %	0 %
11	保護者	【地域との連携】 地域人材を活かして、安全指導に努めている。	24 %	70 %	6 %	0 %
	教 員		68 %	27 %	5 %	0 %
12	保護者	【その他】 お気付きのことがあれば、入力をお願いします。 ★ 詳細は、裏面に掲載しました。	-	-	-	-
	教 員		-	-	-	-

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回のアンケート結果を職員一同で真摯に受け止め、児童にとって、より良い学校づくりに邁進してまいります。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

1 質問事項より

すべての項目において、80%以上の肯定的なご回答をいただきました。ただし、「特別支援教育」「ICT教育」「生徒指導」「家庭との連携」については、結果と自由記述の内容を受けて、今後以下のように指導に生かしてまいります。

(1)「特別支援教育」

○「特別支援教育とはどのようなものか？」という記述がありました。間野台小学校では、全校児童一人一人に応じた支援（合理的配慮やユニバーサルデザイン等）や指導を行い、子ども達がいきいきと学習や生活ができるようになるための教育と考えています。得意なことや夢中になれることもあれば、苦手なことや不安なこともあります。そんな困り感を少しでも軽減させて、落ち着いて活動できるようにと日々取り組んでおります。今後も、子ども一人一人の実態を把握しながら、指導や支援に努めてまいります。

(2)「ICT教育」

○本校ではここ数年間にICT機器の効果的な活用について研修してきました。まずは、職員のスキルアップ、児童のタイピング力の向上、それと同時にタブレットと大型テレビを活用し個の考えを全体で共有し、それをもとに効果的に話し合う活動を進めております。また、ルールとして休み時間は使用しない、学習に関することに使用する、さらに情報モラルを指導し、正しく使用することを身に付けるよう指導しています。タブレットはツールの一つであるので、効果的に使える場面を今後も模索していきます。視力低下の懸念もあるため、このことについても学校で指導してまいります。

(3)「生徒指導」

○8割以上の肯定的なご回答をいただきましたが、2割弱の方々のご回答を重く受け止めております。学校では「いじめを許さない」を大前提として生徒指導をしております。そのために子ども同士の、子どもと職員の良い人間関係作りを今後も努めてまいります。と同時に、早期発見・早期対応をしていき、小さな芽も摘んでいき、誰もが希望の登校、満足な下校ができるよう今後も職員一丸となって生徒指導にあたってまいります。

(4)「家庭との連携」

○この項目も2割の方々のご回答を重く受け止めております。学校と家庭が良好な関係であることが、教育活動を行っていく上で不可欠となります。そのためにも、「家庭とのきめ細やかな連絡」「相談しやすい雰囲気づくり」「電話や来校されたときの対応」等について職員一人一人が振り返り、改善してまいります。

2 自由記述について（要約・抜粋）

○職員の配置数（教諭や講師、支援員、図書館司書、日本語指導等）を増やして、よりきめ細やかに見てほしい。

⇒職員の数が増えることは大きな望み、願いでもあります。しかしながら、「児童数により学級数がきまる」ことが法で定められています。さらに、現在教員を希望する学生等も少ない状況です。今後も職員数にゆとりを持たせることは難しい状況ですが、配置された職員で、子どもたちのために効果が上がるような組織編成をして、教育活動を展開してまいります。また、引き続き講師や支援員等の配置希望もしてまいります。

○運動会や音楽発表会などの学校行事について

⇒本年度は、新型コロナウイルスが第5類に移行したことも受けて、分散ではなく全校児童による運動会や音楽発表会を実施しました。このことについては好評価をいただいております。ただし、音楽発表会では子どもの姿が見えにくかったという意見もありました。全ての行事において再度見直し、次年度につなげていきます。

○学校から配付される文書をマチコミメールで送付してほしい。

⇒今年度、学校だより、保健だよりを中心にマチコミメールにより送付してきました。ペーパーレスの時代でもありますので、今後もメール配信できる文書についてはマチコミメールを活用していきます。ただし、内容によっては紙媒体による文書もありますので、ご承知おきください。また、機種変更してしまうと、再度登録していただかないとマチコミ機能が使えませんが、ご注意ください。

○登下校時（特に下校時）に公園脇に駐車する車が多く、通行しにくいので困ります。

⇒公園脇に駐車することにより、近隣住民から学校に苦情の電話が入り、対応についてマチコミメールにて依頼しました。また、子どもたちが登下校するうえでも危険な場面がありますので、車での来校は協力控えていただくよう、今後ご理解とご協力をお願いします。

○保護者と学校の意見交換の場、保護者同士の交流の行事が少なく残念です。

⇒昨年度まで実施できなかった行事として、全学年での運動会や音楽発表会、学級懇談会を実施してきました。また、家庭教育学級委員の方々を中心に家庭教育学級を2回実施しました。今後も、有意義な交流の場を設けられるよう進めていきます。

ただし、佐倉型カリキュラムの実施に伴い、1週間の授業時数を削減しました。また学校職員の働き方改革も進めていきます。これらのことも考えながらも、限られた時間の中で、行事の統合や工夫等をしていながら、保護者の皆様に学校へ足を運んでいただく機会を考えてまいります。